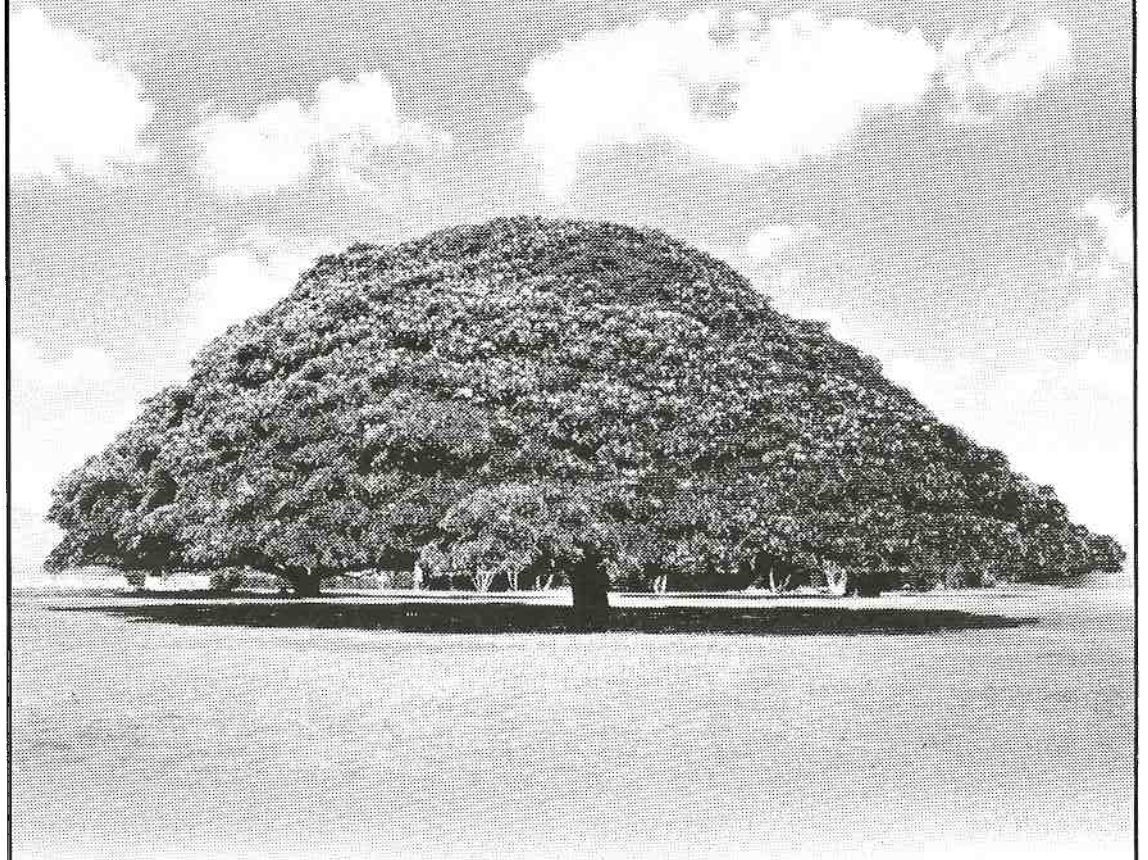


技術の日立

 HITACHI



最先端の技術を使って
暮らしに新しい便利さや楽しさを
ビジネスに創造性や高い生産性を実現すること。
それが、人と技術の理想をめざす
日立の「インターフェイス」の願いです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

第12回日本リーグ結果

〈男子〉 湧永製薬 が優勝を飾る 〈女子〉 大崎電気

第12回の日本リーグは、ソウル・オリンピック大会のアジア地区予選の関係で、1月30日から3月5日まで、男女6チームが1回総当りで行なう変則開催となったが、男子は湧永製薬が最終戦で大崎電気を降し、2年ぶり4回目の優勝。一方女子は、混戦の中から大崎電気が抜け出し、4勝1敗で2年ぶり3回目の優勝を飾った。(詳細については次号でお伝えします)

〈男子〉

	本田	湧永	大崎	日新	大同	トヨ自	勝	敗	分	勝点	同点間	得点/失点	差	順位
本田技研鈴鹿	—	×	○	○	×	○	3	2		6		100/112	-12	2
湧永製薬	○	—	○	○	○	○	5	0		10		135/ 92	+43	1
大崎電気	×	×	—	○	○	○	3	2		6		154/124	+30	3
日新製鋼	×	×	×	—	○	○	2	3		4		105/117	-12	4
大同特殊鋼	○	×	×	×	—	○	2	3		4		102/ 92	-10	5
トヨタ自動車	×	×	×	×	×	—	0	5		0		96/155	-59	6

※勝点が同数のチームの順位は当該チーム間の対戦結果による。
上記にて決定しない場合は総得失点差による。

〈女子〉

	立石	大崎	ジャスコ	日立	ビクター	大和	勝	負	分	勝点	同点間	得点/失点	差	順位
立石電機山鹿	—	×	○	○	×	○	3	2		6		110/ 87	+23	3
大崎電気	○	—	○	○	×	○	4	1		8		150/128	+22	1
ジャスコ	×	×	—	×	×	×	0	5		0		94/141	-47	6
日立栃木	×	×	○	—	△	×	1	3	1	3		114/129	-15	5
日本ビクター	○	○	○	△	—	×	3	1	1	7		129/118	+11	2
大和銀行	×	×	○	○	○	—	3	2		6		111/105	+ 6	4

※勝点が同数のチームの順位は当該チーム間の対戦結果による。

第19回全日本実業団男子トーナメント大会

三陽商会が初優勝を飾る

第19回全日本実業団男子トーナメント大会は、2月5日から7日までの3日間、愛知県体育館に32チームが参加して行われた。

試合は、昨シーズンまで日本リーグ一部でがんばっていた三陽商会が圧倒的な強さをみせて勝ち進み、決勝戦で本田技研熊本を降し初優勝を飾った。

▼1回戦

三陽商会41 (2318-106) 16 アイシン 精機

〔戦評〕前半、両チームとも固さが見られたが、そんな中で三陽は足を使って得点を重ねていった。

得点 0 1014400712
見 井野野村元田田口井
〔7イ〕 横矢今中隈廣喜坂安

GK F P (審・日比)

陽川田 家口川口田方村原塚
〔三〕 清田砂山浜実河吉大
〔宇〕 000 12010812215

41 (1) P T (3) 16

後半に入り、三陽はセットにおいても上からのシュートがよく決まり始め、速攻も加え、得点差は広がっていった。

新日鉄大分31 (2110-512) 17 東京重機

〔戦評〕はじめは新日鉄大分のペースで進んだが、ラスト10分あたりから東京重機のペースに変わり、前半は重機が2点をリードして終った。後半に入り、新日鉄のGK小森のがんばりでラスト20分で追いつき逆転、そのままムードに乗った新日鉄が逆転で勝利を握った。

得点 0 0601361
機川 村野野地田野原
〔重〕 北塩河福吉鷹海老

GK F P (審・松ヶ谷)

分満 森 前杉生部 丸野
〔大〕 財 小 牧 房大麻安 南 得河
得 0 0353301016

住友金属 169-138 21 日本ガイシ
和歌山 25 (169-138) 21 日本ガイシ
〔戦評〕立ち上がり両チームに固

31 (1) P T (0) 17

さがあつたが、住友のロングシュートが決まり始め、ゲームをリードして展開。日本ガイシも清水のシュートで反撃、接戦で前半を終了。後半、日本ガイシも清水を中心によく追ったが追いつかず、住友が逃げ切った。

得点 0 180570000
〔ガイ〕 野本清江喜岩西山柘磯

GK F P (審・日比)

金坂 住崎崎野 岡西田田
〔住〕 相 魚橋山河 西寺古岡
得 0 101073454

日鉄建材34 (2014-6) 12 興亜石油

〔戦評〕前半、再三ノーマークシュートをはずし、なかなかエンジンの力から日鉄建材に対し、ケレン味のない攻めとGKの巧守で対抗する興亜石油。出だしは互角の展開を見せたが、次第に地力に勝る日鉄が相手ミスをついて引き離れた。

25 (2) P T (2) 21

得点 0 4112310000
〔興〕 本 田本野本林本村田藤山
〔松〕 藤中長松高松中重伊大

GK F P (審・細沢)

鉄 輪上村本口辺山山本嶋
〔日〕 襄川霜杉山池上外若玉
得 0 006946522

豊田 自動織機 33 (1518-2) 7 自衛隊勝田

〔戦評〕立ち上がりから多彩な攻撃で得点を重ねる織機に対し、自衛隊勝田は小さなミスが目立ち、点差があつたという間に広がった。その後も半速攻で得点を重ねる織

得点 0 3002110
田口 岡田川橋坂川永
〔勝〕 山 高大市高穂石富

GK F P (審・松ヶ谷)

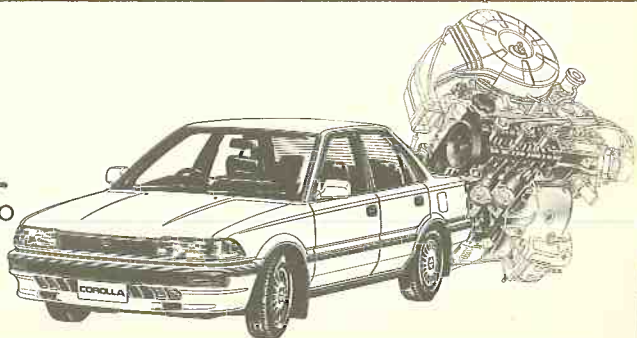
織 村田江畑田山城川瀬内
〔自〕 中柴蟹奥古諫大前笹山
得 0 075040737

33 (2) P T (0) 7

TOYOTA

ニッポンの自動車の新しい物語が始まります。

トヨタのニューグレードセダン
All New カローラ 誕生



機に対し、勝田は前半は5点、後半は疲れが目立ち2点をあげるのがやっとだった。

日本発条23 (112-119) 17北陸電力

〔戦評〕日本発条のロングが前半よく決まりリードしていたが、北陸電力も速攻が決まりだして一時は1点差まで追いついた。

後半も4点差を追って北陸電力がスピード豊かな攻撃を見せたが、日本発条が逃げ切った。

得0001034111070
北陸本内原葉田中田田崎上田

G K { 熊竹小近澤稲田三吉稲川前
F P { 審・加工藤

〔戦評〕前半は、豊田合成ムードで終わったが、日本鋼管福山の林の

豊田合成36 (1818-116) 17日本鋼管

〔鋼管〕見崎松田井郷村島
得030532022
〔鋼管〕岡小篠金西松藤

G K { 式村井辺中田島山田林條本
F P { 審・細久保田

得0038421022556
成〔合〕式村井辺中田島山田林條本

ガッツあるポストプレーが目についた。後半も豊田合成のペースで大差で勝負がついた。

本田技研41 (2219-114) 8関東自動車工業

〔戦評〕前半10分までは、本田爽風会にシュートミスが目立ち、関東自工の善戦が期待されたが、10分過ぎからはロングシュート、サイドシュート、速攻とすべての点で勝る爽風会が徐々に点差を広げ

出足の鋭いディフェンスで関東自工にシュートチャンスも与えないワンサイドゲームであった。

得0001311201
東川永崎井口田川沢本

G K { 小糸黒増山高小安塚
F P { 審・加工藤

〔本池〕西野松本口下吉井
得003286407290
〔本池〕小香山平坂山松弥主

本田技研47 (2423-117) 10ワールド

〔ワールド〕平野根内尻川本村根村藤
得01301100310
〔ワールド〕坂池井市松中山北近

G K { 尾本野伯野田代村野口中崎
F P { 審・越庄司

得0042243536711
熊〔中〕坂長佐長荒三松矢田山川

〔戦評〕初出場のワールドのがんばりも本田技研熊本の速い展開に圧倒され、前半15分で勝負は決まった。後半も本田の速攻の手は緩まず大差となったが、ワールドも点差に関係なく力一杯がんばった姿勢に好感ももてた。

金沢市役所24 (1311-118) 15自衛隊

〔戦評〕両者とも固さの見える出だしとなったが、2-4ディフェンスとシュートチャンスを確実に決めて金沢市役所が、前半15分

までに7-1と大きくリードした。しかし、残り10分でエンジンの力がかつた自衛隊久里浜が追い上げムードとなり前半を終了。後半も確

実なシュートとまとまりの良いディフェンスで追いつきムードをふり切った金沢市役所が試合を決めた。

得0001602600
久里浜平
〔久里浜〕下渡中川黒友永白黒管梅

G K { 中井村森納本村田山内屋
F P { 審・若山

日本電装32 (1715-128) 20コスモ石油

〔戦評〕前半、攻守に勝る日本電装が15-8とリードしたが、再三のチャンスにシュートミスが目立

得00302519000318
〔竹〕藤池金中橋中西西倉垣八日市

得005004103330
ガ〔ス〕田野志井村田谷坂田谷

った。コスモはシュートがはずれも単発で、リズムに乗れなかった。後半コスモは山本らのシュートで追い上げを見せたが、着実に加点了電装が前半のリードをさらに広げ快勝した。

得2060410070
〔谷〕福善松北高川八松柳山星

G K { 戸村路崎本田田崎口波藤
F P { 審・杉本

〔電装〕戸村路崎本田田崎口波藤
得0053317243331

大阪ガス35 (1916-119) 20徳山曹達

〔戦評〕前半は、大阪ガス長田、水谷、藤田を中心に試合を引っ張った。一方徳山曹達も中村を軸に大阪ガスのスキを狙い、前半15分

まで五分五分の好ゲームで前半を終了した。後半も前半のペースで球離れ、コンビの合った大阪ガスがふり切り、1回戦をものにした。

得00162080210
〔曹達〕井上村村上村永東田津島

G K { 野志井村田谷坂田谷
F P { 審・越庄司

〔ガ〕福奥竹藤中長水田藤新

得05004103330
ガ〔ス〕田野志井村田谷坂田谷

くらし、ひろげるジャスコのカード

会員募集中

お支払いもいろいろ

- 月々のお支払いがラクなリボルビング払い
- 手数料なしのおトクな一回払い
- お求めはいま、お支払いはボーナス一括払い

ジャスコ

ファッションから食品まで
サインひとつでお買物。

ご入会手続きも簡単です。
お気軽にお申込みください。

お申し込み、お問い合わせは、ジャスコ各店サービスカウンター又は、販売員におたずねください。

竹芝精巧 19 [11-9] 17 自衛隊員

〔戦評〕両チームともスピードのある攻撃をしながらもGKの好守に阻まれ、ロースコアで前半を折り返した。後半も両GKの好守により一進一退をくり返したが、20分過ぎに連続得点をした竹芝精巧が辛くも逃げ切った。

得0001280033
二堯先賀見谷田光根戸
呉
〔一須山寿塩小岡利山瀬〕

G K F P (審・清水)

〔戦評〕前半の立ち上がり、両チームともミスが目立ったのだが、新日鉄のミスを出光興産がうまく得点に結びつけ、10-6でリードし前半を折り返した。後半残り4

新日鉄 23 [176-1010] 20 出光興産
名古屋

〔戦評〕前半の立ち上がり、両チームともミスが目立ったのだが、新日鉄のミスを出光興産がうまく得点に結びつけ、10-6でリードし前半を折り返した。後半残り4

得000032061026
光村永葉原羽中木石村永岡木
〔出久池千保赤田佐永清重鶴大〕

G K F P (審・杉山)

〔戦評〕前半、両チームともミスが目立ち、10分過ぎまで2-2。ここから三井が中村の連続得点などで早い試合展開となり前半を終了。後半に入り、ようやく動きの良くなった神戸が、足を使った攻撃でジリジリと追い上げ、残り5分に20-19と逆転に成功、そのまま食い下がる三井を振り切った。

分で新日鉄が同点に追いつき、出光のミスをやまくポイントに結びつけ逆転勝ちした。

神戸製鋼所 22 [148-1011] 21 三井石化
千葉

〔戦評〕前半、両チームともミスが目立ち、10分過ぎまで2-2。ここから三井が中村の連続得点などで早い試合展開となり前半を終了。後半に入り、ようやく動きの良くなった神戸が、足を使った攻撃でジリジリと追い上げ、残り5分に20-19と逆転に成功、そのまま食い下がる三井を振り切った。

得0005027403
井藤 中本重村田村東船
〔三佐 田坂森岡相中三円貴〕

G K F P (審・杉本)

〔戦評〕前半、両チームともミスが目立ち、10分過ぎまで2-2。ここから三井が中村の連続得点などで早い試合展開となり前半を終了。後半に入り、ようやく動きの良くなった神戸が、足を使った攻撃でジリジリと追い上げ、残り5分に20-19と逆転に成功、そのまま食い下がる三井を振り切った。

セントラル 37 [2017-143] 17 日本耐酸塩
自動車

〔戦評〕前半、両チームともミスが目立ち、10分過ぎまで2-2。ここから三井が中村の連続得点などで早い試合展開となり前半を終了。後半に入り、ようやく動きの良くなった神戸が、足を使った攻撃でジリジリと追い上げ、残り5分に20-19と逆転に成功、そのまま食い下がる三井を振り切った。

G K F P (審・清水)

〔戦評〕前半、両チームともミスが目立ち、10分過ぎまで2-2。ここから三井が中村の連続得点などで早い試合展開となり前半を終了。後半に入り、ようやく動きの良くなった神戸が、足を使った攻撃でジリジリと追い上げ、残り5分に20-19と逆転に成功、そのまま食い下がる三井を振り切った。

〔戦評〕日本耐酸塩の各選手は、シュート1歩前のパスでミスが出てあまり得点できなかった。セントラル自動車は、速攻、コンビプレーにより着実に加点し、日本耐酸塩に圧勝した。

三陽商会 35 [1916-8] 14 新日鉄大分

〔戦評〕前半開始直後は、お互いペースがつかめなかったが、時間が進むにつれ三陽がペースをつかみ、実力のロンクシュートなど多彩な攻撃で得点を重ねた。後半に入って、新日鉄も開始早々反撃したが、三陽は全員がよく動き、終始ペースをつかみ圧勝した。

得000211402130
分満東森 前杉生部 丸野東
〔大財伊小 房大麻安 得河伊〕

G K F P (審・越司)

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

連攻を十分に生かし、山口のロングも冴えて着々加点。住金も善戦を見せたが、攻守ともに力の勝る日鉄が押し切った。

得00013125040
金坂 住崎崎野 岡西里田田
〔住相 魚橋山河 西寺大古岡〕

G K F P (審・杉森)

〔戦評〕双方とも攻め手を欠き、得点できず、10分経過して3-3。その後日本発条のミスからの半速攻により織機が2点リードして前半終了。

豊田 17 [98-5] 11 日本発条
自動織機

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

G K F P (審・松ヶ谷)

〔戦評〕前半は速い攻めと上山のミドルシュートによって日鉄建材は着実に加点していった。一方の住金と歌山は、日鉄建材の堅い守りに阻まれて苦しい立ち上がり。後半も、日鉄は相手のミスからの

各種記念品 バッチ・メタル・優勝カップ・楯 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品 製造販売

シマダ 記章株式会社

電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
〒173 FAX. 東京(03)973-0674

本田技研 27 (1611-107) 17 豊田合成
爽風会

〔戦評〕前半、本田爽風会がシュートミスに犯しながらも早いプレーで豊田合成を4点リードした。後半は、爽風会の速攻が決まり始め、豊田の方もボール回しにリズムが出てきた。しかし、20分から両チームに退場者が出て荒れたゲームとなってしまった。

得001001001002166
〔合〕武村井辺中岡田島田林條木
成
〔則〕梅花渡島片吉真牧小上椋

〔爽風会〕木本池西野松 下下吉井
〔高岡小香山平 東 山松弥玉
得003247380000

本田技研 28 (1414-109) 19 金沢市役所
熊本

〔戦評〕両チーム、スピードのある果敢なプレーで点の取り合いで展開されたが、前半の終了間際から得点力に勝る本田技研熊本が引

得0010064070001
〔金〕中井村森納本井村田山 倉 内
〔竹〕藤池金中橋酒中西西 垣

G K F P (審・加工藤) 藤
尾本野伯野田代村野中口崎
〔熊〕中坂長佐長荒三松矢田山川
得008223121234

き離し始めた。一方、金沢市役所も速攻やサイドからの攻めなどすばやい攻めで食い下がったが及ばなかった。

日本電装 23 (1013-129) 21 大阪ガス

〔戦評〕立ち上がりは日本電装の動きが良く、大西ガスの方ははいまいであつた。しかし、両チームともG Kが良く、点差はあまり開かなかつた。

後半も相変わらずレベルの高い試合だったが、電装が徐々に45度シュートを始め始め、G Kの好キープと相まって電装が23-21で勝利を取めた。

得0300045243
〔ガ〕野志井西村田谷坂田
〔福〕奥竹藤大中長水田藤

G K F P (審・細沢) 沢
〔装〕戸村路本田田崎口波戸藤
〔電〕神杉川久前大岡樋難西近
得0061402502330

竹芝精巧 29 (1217-177) 24 新日鉄
〔戦評〕はじめ両チームともミスが目立ったが、途中から竹芝がシュートを決め出し、引き離して前半を終つた。後半、新日鉄もシュートが決まり出して追い上げたが、あと少しのところまで追い上げなかつた。

得00422490102
〔名〕上野野屋水島 辺務根藤
〔古〕岩浜平土清大 堀 渡各阿伊
久

G K F P (審・清水) 水
〔芝〕幡場本幸木口本村野
〔竹〕小馬松三桐森三今百
得006691151

セントラル 34 (1618-65) 11 神戸製鋼所
〔戦評〕終始スピードに上回るセントラル自動車のペースで試合がつづく。神戸製鋼・石橋のロングシュートで反撃をかけるが及ばなかつた。

得0022003130
〔神〕尾永口野辺谷橋内崎伯
〔銅〕中宮江笹渡藤石河山佐

G K F P (審・杉山) 山
〔藤〕藤田場戸野形原谷船村葉藤
〔七〕佐寿笠瀬藤尾海守貴中千佐
得00364225440262

三陽商会 38 (1721-1010) 20 日鉄建材
〔戦評〕前半中盤までは一進一退の攻防をくり返したが、中盤を過ぎると三陽がペースをつかみ、砂川の速攻などで大きく差を開いた。後半に入ると、三陽の攻撃が単調

になりがちであつたが、総合力で勝る三陽の大勝であつた。

得00064422020
〔鉄〕輪上村本口辺山山川本嶋
〔日〕養川霜杉山池上外古若玉


陽川田家口川口田方藤井原塚
〔三〕宇吉清田砂山浜実安河吉大
得00515335800317

本田技研 30 (1911-813) 21 豊田
爽風会
〔戦評〕序盤戦で2点差をつけた織機を追う形となつた爽風会。双方譲らず13-11の2点差のまま前半終了。後半に入り、織機のシュートミスからの速攻で得点を重ねた爽風会は、7分に15-14と逆転。その後、速攻も湧え、30-21で勝利。

得0066001404
〔機〕村田江畑田山城川嶺内
〔織〕中柴蟹古諫大前笹山

G K F P (審・杉本) 本
〔爽風会〕木本池西野松 下下吉井
〔三〕岡小香山平 東 山松弥玉
得004247370030

本田技研 41 (2120-129) 21 日本電装
〔戦評〕前半の日本電装はシュートミスが目立った。それに比べる



今日のは
背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッションブルでスポーティで、感度バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。

Handボールニコニコを満たす

Magazine
6inch
6型コンパクトカラーテレビ
CX-60
標準価格79,800円(AC電源付)

と、本田技研熊本は、シュートを確実に決め、そこで勝敗が決した。

得003040415112
〔電〕戸村路本田田崎口波戸藤
〔電〕神杉川久前大岡種離西近

G K F P (審・細沢久保田)

〔熊〕尾本野伯野田代村野中口崎
〔熊〕中坂長佐長荒三松矢田山川
得0011145542423

竹芝精巧25 (169-111) 21 自 動 車

〔戦評〕前半10分まで両チーム3点というスローなスタート。セントラル・千葉、海老原のロングヒッターを中心とした大味な攻撃に對して竹芝精巧は三幸、桐木らの積極的なプレーでそれに食いついていった。後半に入り、竹芝の着実な得点に對し、セントラルは竹芝の好ディフェンスに得点をあげられずに敗退した。

得0020029400040
〔藤〕藤田場戸野形原谷船村葉藤
〔七〕佐寿笠瀬藤尾海守貴中千佐

G K F P (審・清水大鐘)

〔芝〕幡場本幸木口本村野
〔竹〕小馬松三桐森三今百
得006590131

25 (2) P T (4) 21

▼準決勝

三陽商会35 (2015-19) 18 本田技研 爽風会

〔戦評〕両チームとも堅い守りのためセットプレーで点が取れず、三陽の速攻と爽風会のサイドシュートだけが目立った。爽風会は、三陽の1・5ディフェンスが崩せず、ロングの決めてがなかった。三陽は相手のシュートミスからの速攻でつなぎ、点数をあげていた。後半は、爽風会のディフェンスが崩れ、三陽は速攻、ポスト、ロングなど多彩なプレーを使い、そのまま逃げ切った。

得0050212710
〔宅〕宅本池西野松 下下吉
〔爽〕三岡小香山平 山松弥

G K F P (審・細沢久保田)

〔陽〕川田 家川口口田方村原塚
〔三〕三田 関
得002250227744116

本田技研 36 (1818-914) 23 竹芝精巧 熊本 36 (1818-914) 23 竹芝精巧

〔戦評〕前半は開始から両GKの好守もあり1点を争う好ゲームを展開したが、20分を過ぎると竹芝精巧のミスが目立つようになり、点差が離れていった。後半開始早々、本田技研熊本は速攻をよく出し、一気に点差を開く。その後、疲れの見える竹芝に對し最後まで

で足が止まらなかつた本田熊本が余裕をもって勝利を飾った。

得001861160
〔芝〕幡場本幸木口本村野
〔竹〕小馬松三桐森三今百

G K F P (審・清水大鐘)

〔熊〕尾本野伯野田代村野中口崎
〔熊〕中坂長佐長荒三松矢田山川
得008268210144

3位決定戦

竹芝精巧25 (1411-1212) 24 本田技研 爽風会

〔戦評〕立ち上がり、竹芝はポストシュートで得点を重ねていったのに対し、爽風会はロングシュートで対抗し接戦となる。前半は互いにチームの持ち味を出し合ったすばらしいゲームが展開された。後半開始早々、爽風会は2点を連取しベースに乗るかと思われたが、竹芝も速攻、ポストなどで必死に食い下がる。後半中盤、竹芝

得0021572601
〔宅〕宅本池西野松 下下吉
〔爽〕三岡小香山平 山松弥

G K F P (審・杉本)

〔芝〕幡場本幸木口本村野
〔竹〕小馬松三桐森三今百
得004840261

25 (5) P T (5) 24

▼決勝

三陽商会27 (1413-810) 18 本田技研 熊本 27 (1413-810) 18 本田技研 熊本

〔戦評〕立ち上がり三陽がリードしたが、本田もすぐに追いつき、その後は本田がやや押し気味に試合を進めた。しかし、前半終了間際に本田はミスを連続し、逆に三陽が3点のリードを奪って前半を折り返した。後半立ち上がり、本田は一気に1点差まで詰め寄ったが、三陽のGK宇田川の好守にミスを連発し三陽の速攻にあい点差を広げられそのまま押し切られた。

得00805000122
〔熊〕尾本野伯野田代村野中口崎
〔熊〕中坂長佐長荒三松矢田山川

G K F P (審・松ヶ谷)

〔陽〕川田 家川口口田方藤村塚
〔三〕三田 関
得00080054530002

27 (4) P T (4) 18

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

北國銀行

本店 石川県金沢市下堤町
店舗 石川・富山・福井
東京・大阪・名古屋
京都・130か店

ストラスブル レフェリーシンプोजウム報告

光島 礎雄

「現在提起されているレフェリー 批判についての問題点」

ヴェルナーフィック

(IHF PRC理事)

このようなシンプोजウムでトレーナーとレフェリーエキスパートという拮抗的グループ関係で両者同等に満足するような結論を得ることは、はなはだむづかしいことである。とはいふものの、IHFの規則審判委員会の考え方は、両者の間の各論にわたる討議はぜひとも必要と考えている。

現在、予定されているIHF大会に吹笛候補者となっているレフェリーを助けるための情報をコーチ諸氏にも届けるべきであると考える。我々としては、この短いシンプोजウム期間で、共通の話題であるレフェリー非難論議については、毎試合終了後レフェリーにも同席させた上で可能な限りルール解釈で個々の見解を制限限定するように運びたいと努力しているつもりである。

我々は今回実施されるIHFシンプोजウムで、トレーナーとの討議を通じてハンドボール競技の理念についての見解調整と、そのことと自身がルールに合致することを実現したいと念じている。

最も重視されている目的としては、それぞれの状態に応じた一致性ある判定に賛同してもらうことである。いずれかの試合状況の中で、しばしば起こるトレーナーによるまちがった、またはかたよった不規則な判断は、そのチームが攻撃中か防衛中かによって異なった様相を示すものである。損害を与えるにせよ、受けるにせよ、それぞれ異なった判定がくだされることは、やむをえないことである。そこで私の願うことは、すべての討論がこの両者によって無条件で行われるとともに、レフェリーサ

イドにも望まれる平衡的感覚による判定に到達することである。レフェリーにとつて、彼らの決定の大半を支配するものは「ルール8と17における相手に対する動作」との罰則について」である。

常に基本的な問題の出発点となることは、段階的罰則適用をいつはじめたらよいか? ということである。

規則違反のうちで大多数は「相手に対する動作」の条項の中に網羅されている。それは「フリースローによるか」「明らかな得点チャンスであれば、7mスローを判定しなければならぬ」「これらくり返し行われる攻防の中でチームのボール保持を保障するためのフリースロー反則判定という性格の反則である。これと対照的に、8-13における相手に対する動作は段階的に罰せられることになる。(17-16、17-36)ここでは主としてあきらかな規則違反、すなわち、つかまえる、抱きつく、突きとばす、突きあたる。足を出す、叩くなどして相手を防ぐことである。上記のことから8-14が粗暴な行為として罰する対象となり直接失格となり、8-15では追放につながる暴力行為となる。この2項目にあたる行為は、幸いにしてさほど頻繁に発生していない。だからこの件についてのチーム内の

学習過程は一応肯定的な結果をもたらしているといえる。これらの単なるフリースローまたはそれによる保持の交代になるといふ反則と追加的に段階的に罰をくだすことについては目下討議中である。このことについては、私自身では灰色状態とみている。すべてのホールディングやプッシングが、必ず段階的に罰することが適当であるとは決めつけられないからである。

抽象的概念的に表現する形で、以下にいくつかの例をあげてみることにする。この灰色状況の中には多くの途中停車ともいふべき段階がある。相互の身体接触が起こるそれぞれの動きの方向過程とその速さの点で個別に観察し判断することは極めて困難である。厳しにせよ、ゆるやかにせよ、極端な罰則適用基準を作り出さないようにと考えると、我々はレフェリーに対して灰色状態に相当する行為については試合開始後10-15分間ぐらには比較的寛容(ふとつばら)に取り扱うようにとすめたい。反則のうち行為的に厳しい(荒さ、強さ)ものの40-60%は、この段階的罰則適用の可否を問われるものであり、うたがわしいときはプレイヤーの有利なように判定するべきである。この基準条件についてもとと厳密に言うとする

ば、レフェリーは各種多様な指示、注意を活用し、吹笛においては、その吹き方の変化性であり、立居振舞いの点では身振りや表情の演技であり、そして言葉による指示を明瞭にプレイヤーに知らせることであり、そうすることによってフリースローと追加的段階罰則適用の区別を示すべきである。これらの過程により、試合のはじめの10-15分間のレフェリーの寛大な判定態度から、両チームがレフェリーの判定基準の限界がどこにあるかをさとらせる時間的余裕が与えられることになる。

我々はトレーナーやチームが常にレフェリーの出身がどこの大陸なのか、国籍はどこかなどと事前に情報を入手しようと神経を使うことのないようになることを考えている。国内的な交流では、この順応過程は十分な豊富な予備知識によりほとんどゼロに近いくらい縮小している。レフェリーとの対話とその結果の現実性により、我々は非常に多種多様な問題やルール解釈面での国内的な特徴の存在を認めざるをえない。レフェリーサイドの視点からは、この種の状況の発生することは、「トレーナーサイドと似たようなものである。彼らの持っている個々のプレイヤーやチームについての予備知識がゲーム運行の出来不出来について

の評価に影響をあたえるときにも、それによってさし止めた紛糾に対して既座の断固たる処置をとることに有意義なものとなる。

再度強調するが、順応過程ははじめの10〜15分間にレフェリーとトレーナーの間で極端な攻撃的、不和紛糾状態にならぬように成し遂げるべきである。

他の言葉で表現するならば、段階的罰則適用判定の限界線認定はあくまでもチーム自身のためであることが明らかでなければならぬ。

レフェリーにはすべてを黙認し、やりつばなしにまかせるとか、それによって不正でアンフェアなゲーム態度のプレー方法がまたぞう引き起こされているなどは要求されていないし、また退場を多くとるレフェリーがよりよい出来ばえであるとの考えにも賛成出来ない。我々がレフェリーに望むこととしてレフェリー自身がその人格権威からあらわされる力量をそなえると共に試合をしているチームに対して評価範囲を明らかに示し、それによってゲームそのものを、しっかりと把握することである。

段階的に上昇加重する罰則適用という便利な方法を改めて勧奨する以上はぜひ利用活用すべきである。つまりこれは警告手段を有効

に活用することである。緊張心で連続順序を考えるより、気分を鎮めるとともに60分間にわたってよりよい罰則適用態勢を作りあげる手段とすべきである。

段階的罰則適用との関連で、シユート動作の前とシユート時の段階罰が当然の反則については、実行すべきであり、その後反則については、アドバンテージルール活用を実行すべきであり、その後反則をおかしたプレイヤーを罰することが付随するように勧告する。

同様の表現であるがレフェリーがアドバンテージ解釈をするにいては、防御側に段階罰相当の行為があつてもゲーム中の状況に応じたゴールへのシユートするときとの関連で判断して行うことが適当である。ボール保持ということが段階罰の適用を遅くする理由ではなく、むしろ得点チャンスであるからどうかということである。レフェリーはシユートの後にこそ特別の着眼点を持つべきである。ゴールエリアライン付近ではシユートのときに頻りにアンフェアな現象が起こるものである。レフェリーの視点——この場合は、センターレフェリー——はボールを早く追いすぎる傾向がある。

それでレフェリーは、次のようなアンフェアな出来事をみのが

すことになりがちである。

- (a) 防御側プレイヤーの行為でシユートが終了した後でもシユートをつきたおすと
- (b) シユーターの行為で彼がシユートした腕を防御側につきあて

る。両方とも反則となる行為であるとともに負傷をまねくおそれがあり、レフェリーによる別格の観察が求められることである。この機会に、私はルール819について注意を喚起したい。

「GKを危険にさらすことは禁じられる」我々はプレイヤーの健康（安全保持）が最も重要と見るとともに、プレイヤーは当然適正に行動すべきであると考えている。残念ながらこの頃一層ひどくなりつつある。なりふりかまわぬ形でのGKに対する行為はすべてみがさぬようにしなければならぬ。適当な例はゴールエリア上へのどび込み、または走り込みなどである。走って突きあたる、突きとはす、ジャンプして突きあたるなどすべて負傷の危険をはらんだ行為である。

トレーナー諸氏に望むこととして、より高度の配慮が得られるようにするためプレイヤーに対してGKをルールに反して危険におとし入れる行為を実演してみせるようにしてもらいたい。我々がアン

フェアプレーをやめさせるべく段階罰適用を問題にしているのは、攻撃側の反則への警告を特別に強調するにしてもそれは同時同等の解釈で行うべきと考えるからである。攻撃側の反則が適正に罰せられないことになれば、ルールに適合した防御活動を行うことは不可能となる。ルールでは攻撃側と防御側両者の立場やチャンスと同等、公平に考えて処置するように基本づけられている。もし我々が攻撃側反則に関心・考慮をほらわぬこととなれば、そこにはもはや防御側にとってアンフェアな対応による方法しか残されていないことになるであろう。フェアに防御しようとしているチームにとつては、攻撃側の反則を適切にみるしフェリーによるバックアップが必ずやなのである。

私としては全般的にみて、明らかに識別可能な攻撃側の反則、それも戦術的特色も目的も格別のものがみられないような6人対6人状態のときに起こるものは現在ここで扱わないことにする。それよりも、むしろこのことが戦術的見地からか、または明快な判定に極めて困難を伴うと考えられる。試合の流れ、経過に問題を限定して考えたいと思う。

例として、試合遅延戦術につい

brother

ツシないね。

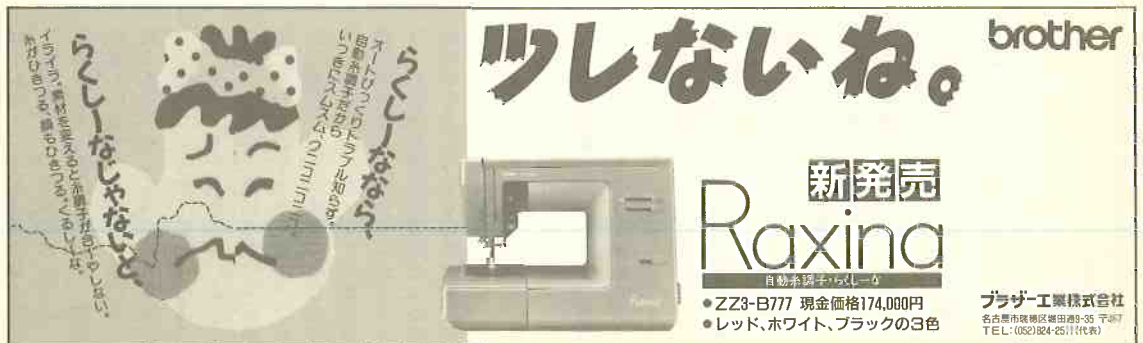
新発売

Raxina

自動糸調子いらいら

●ZZ3-B777 現金価格174,000円
●レッド、ホワイト、ブラックの3色

プラザ工業株式会社
名古屋市中区栄三丁目3番3号
TEL: (052) 824-2511 (代)



ては、得点差を守るためとか、自チームの人数が相手よりも少ないときなどに、残り時間をなんとかうまく持ちこたえ、たえしのごとくとする。このとき攻撃側は相手の反則を挑発するための反則行為を多くするようになる。そしてフリースローが与えられるとなれば時間を稼ぐことになり、しかも消極的プレーに加えて、タイムアウトでない中断時間をより長く延ばしてしまうことになる。我々はレフェリーに対し、今まで知り得た挑発的意味を持つ事例を紹介し、知覚的な判定判断のきっかけをつかむことに役立ててもらいたい。

- 以下にその諸様相を記す。
- (a) GKがボールに対して積極的にかかれないか、またははたらきた態度をとる。
 - (b) 試合内容の組み立てを緩慢にする。
 - (c) 誇張、大げさなやり方または緩慢な交代動作。
 - (d) スローオフをわざとだらしくやって修正されるようにしむける。
 - (e) 非生産的で何の効果もないとみられるハーフライン以前地域でのプレー。
 - (f) 負傷などをよそおって、ボールをキヤッチ出来なくなつたふりをするとか、ボールをとるのに身をかかめることが出来ない

- (g) フリースロー判定を誘発するような行為。
- (h) 積極的にプレーしているようにみせかけるための回数の多いドリブル行為。
- (i) シュートをするチャンスがあつても無視する。

- (a) 背中を向けなおして相手プレイヤーにつきあてたパスをした
- (b) 相手からちよつと触れられただけで倒れたり、
- (c) ボールを持って、相手プレイヤーが複数でかたまっている状態の中へつっこみ、ホールディングされる。

反則を挑発するということが自体は反則ではない。しかしながら、レフェリーはこのような状況下でも醒めた眼をそなえているべきであり、挑発的プレーの小さな反則にも罰を与えるとともに、これが非スポーツ行為につながることを念頭におくべきである。大げさな誇張的なこれらの戦術的タイムウエーティングを阻止しなければならぬ。

次に、レフェリーにとって正しい判断をくだす上で最大の難点である攻撃側の反則についての例をあげてみることにする。

◎ ゴールエリア前の防御陣のすき間は攻撃側にとってはゴールへの出口といえる。攻プレイヤーはそこへ突っ込んで行く防御プレイヤーはそのすき間を閉じようとする。この場合どちらが反則したことになるか？ それは攻撃側のチャージングか、または防御側の突きあたり行為となるのか？（この場合は得点チャンスであるかどうかは問題ではない）罪の問題、責任の所在を問うならば誰れが、どちらがはじめにその突破口進入地点に居たかによって決められる。

防プレイヤーが衝突発生前にその地点に来ていたのであればチャージングである。もし防プレイヤーが若干遅れてもその突破口進入点に来てそしてなおその動きが待っていない状態であれば、彼らは攻撃側に対して横から突きあたつたのである。反則の仕掛人と判断されることになる。まったくこの件について正しい判定をくだすことは至難事である。

◎ 他の状況について述べる。

サイド攻撃プレイヤーがボールを持ってゴールエリア上にとび込んだ。そのエリア前の内側から走って来た防プレイヤーも同様に斜めにゴールエリア内にとび込んだ。

レフェリーへの問いとして、
1 誰れが（どちらが）先にジャンプしたか？
2 同時にジャンプしたとすればどちらが先に衝突点に達したか？極めて稀な場合、これはチャージングである。しかしながら、防プレイヤーが先にジャンプしているか、または衝突点に達する前の同時ジャンプだったとも考えられる。いずれにせよ、これによってゴール方向へのジャンプを阻まれた。レフェリーはこの成り行き経過を、他の多くの事柄をも観察しながら、罰則適用を考えなければならぬ。

シュートをとめようとする防行為も含めて考えると――。

ボールがプレイヤーの手からはなれていくかどうか？ 防御プレイヤーの動作が相手の身体に対して、はたらいたか？ もしその答えがイエスであればその危険度を確認してそれを段階的罰則適用に持っていくか、または粗暴行為として罰すべきである。誰れが誰れを危い目にあわせたのか？ このほかにゴールエリア侵入が先にあったかどうか？ ゴールへのシュートが完全に可能だったか（ジャ

くつろぎ曜日は、手づくりを

- ファンシーコースター
- 化粧ケープ
- エプロン
- テレフォンカバー
- ラケットカバー
- クッション

楽しみます。

ライフステージをおしゃれに彩る 小物たちを、ミシンでつくってみませんか？

the **misin**
コンピューターミシンH2L-7700型



東京重機工業株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 ☎03(480)1111

ンプ方向、シュートをする腕の状態など)単純に7mスローを与えておくだけで済むかどうか? 判定をくだす上で衝突が起こる前のプレイヤーがどの程度まで危険防止を考慮していたかも含めて考えるべきかどうか? 攻プレイヤーがシュートをするときには、シューターがゴールエリアの地面に着地する前にボールが彼の手から離れていたかどうかでも観察しなければならぬ。この例では、我々はレフェリーの観察任務課題がいかに多種多様にわたるかを知らされるのである。一瞬、寸秒の間に正しい判定がくだされなければならぬ。ナシセンスなレフェリー方法や個人的なスタンドプレーでは、このような事態に際して一層複雑なものにしてしまうことがある。もしこの陳述報告が諷刺とか否定的なものを受け取られるのであれば、我々は上記のような状況がまだ存在することを認め、必然的にレフェリーサイドには体制を整えるように指示しなければならない。近年いろいろな種類のトリックを使ってレフェリーの判定を自チームの意に沿うようにしむけようとする試みが年を追って増えつつある。このようなことは、適正な行為ではないにもかかわらずいまだにそれは禁じられていないし、それは依然としてレフェリーの仕事を極

端に困難なものにしている。

◎ 彼の誤解を招く状況について
攻プレイヤーが防プレイヤーに突きあたるとして防プレイヤーのその反則動作として防プレイヤーは、ただちに両腕で相手をホルディングしてしまった。ここで防プレイヤーが、もつとかしこくふるまうことが出来たのではないかという意見が出てくるのではないか? 例えばホルディングするのをちよつとの間待てば、レフェリーは状況をもつと明確に察知することが出来たであろう。しかし、これと反対に防プレイヤーは今までの経験でレフェリーがおそらくこの攻プレイヤーの反則を罰しないであろうことを知っているからそうするのである。基本的にレフェリーは、はじめに行なつた反則行為を明確化するため、攻プレイヤーの反則については出来るだけ早く吹笛すべきである。その吹笛が遅れると、次に防プレイヤーの反則を呼びおこしプレイヤーや観衆にいらだちの念を抱かせる結果となる。
攻防両チームのプレイヤーが入りまじばつて動きまわっているとき、両者が相次いで接近したり、衝突したりするが、これも多くの場合は防側の反則判定となつてしまふ。攻プレイヤーが悪いとされる

ことはほとんど稀である。さほど激しくない衝突では、攻撃側がボール保持を続ける限りアドバンテージが適用されると同時に、防側にも段階罰適用は行われないうと規定している。この状態は、判定に常に困難を伴うため、将来はレフェリーに対してこの件についての何らかの自由採量の基準が作られることにならう。

次に防側の行う不法法やトリック悪習について例をあげることにする。

防側がうしろにひっくりかえると同時に大げさな声を出すという挑発的演技を行い——それが、わずかな接触であつても——防側の有利化をはかつてレフェリーに影響を与えようとする。

攻撃側の反則では前記のほかに頻繁に肩の部分での横方向へ突きあてる、ひねりねじりまわすといった感じで防側を妨害する。

攻撃側がジャンプ中に膝を強く突き出すことについても言及しなければならぬ。相手に対して膝を前方に突き出すことは明らかに危険行為であり、当然相応の罰則を適用する。現在もお頻繁にみられる。攻撃側プレイヤーがパスをした後ボールなしでおかす反則の見落とし、一定の動きのつづき、または後方へのジャンプの後で相

手に突きあたるとした場合レフェリーはしばしば反則を見落とししてしまう。その理由としては、ボールがすでに別途にプレーされてしまつてしまふし、ボールなしになつた当該プレイヤーはもう直接シュートに關与する状態でなくなつてゐるからである。

これらのことは、いつもあるわけではない。攻撃側にはアドバンテージが適用されるからである。レフェリーにとつての決定的要素は防プレイヤーがその行動の自由をたもつているか、また攻プレイヤーのチャージングにより行動の自由がせばめられて妨害されるかという状態になつてボールをキヤッチもパスも出来なくなつてしまふことである。

攻撃プレイヤーがエンドラインに平行または対角線のように走つてゐるとき、または横方向に入ればかわつたり位置を変えたりする防プレイヤーの普通に出してゐる腕にあたりたりすることがあつてもこれは攻撃側の反則ではない。

ここでの討議対象問題としてゴールエリア内に立っている状態の防プレイヤーに対してボールを持った攻プレイヤーが、走つたり、ジャンプして突きあたることに関してレフェリーはどうすればよいのか? 残念ながらこの状態は

実績と信頼の公式試合球

イルマボール



ALLOVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋

近年とみに多くなりつつある。ボール保持の攻ブレイヤーに対する防ブレイヤーのルールに反した位置どりはすでに明快な判定がくだされるようになっていた。防ブレイヤーがゴールエリア内に立ってボール保持ブレイヤーに対して利益を得ようとする行為は6-2Cにより7mスローで罰せられる。しかしながら、すでに優先して重要な原則はブレイヤーの健康(安全)を守ることであり、この種のタイプの攻撃を非スポーツ的行為と認定することにレフェリーは注意関心を払い攻チームロックに7mスローを与えることを無視してもかまわないから攻チームを罰するべきである。このような危険を容易に予測出来る行為意図は決してみのがしてはならずむしろそれを粗暴行為以下として格付けられるよう望むものである。さらにレフェリーの正確な判定を必要とする攻撃側の挑発的態度についても研究の必要がある。防側によっても研究の必要がある。防側によっても研究の必要がある。防側によっても研究の必要がある。

期待する成り行きが起こってくる。攻撃側にとつてもっとも好都合なことは、反則吹笛後もボール保持で居ることである。歩数超過(オーバーステップ)により、反動的に過度な身体接触が往々にして防ブレイヤーをゴールエリア内に押しやるか相手の安全を考へることなく、引きつづいてのシユート動作に移行してしまうことがあるが、こうなると防ブレイヤーは、はじめの反則をうわまわる反則をしてアンフェアな対応を示すにいたり、より厳しい罰則(例えば7mスローや退場処分)が行われるようになり泥沼のようになる。こうなってもレフェリーは誤った罰量評価におちいらぬよう感性を働かせるようにならなければならぬ。

次にアドバンテージルール適用を考えることにする。私はすでに段階罰則適用に関連していくつかの話をした。正しい——それはときとして幸運もあるが——アドバンテージルール運用は優秀なレフェリーによって解釈処理されている。若干のミスはあるとしても、それはいかにも優秀なレフェリーペアとても2度や3度の間違つたアドバンテージ判定は試合のはじまりの時期には、ながら事実であり、再三みられることである。この不運、幸運は最良の配慮、意図のもとでも反則が吹笛されず、そしてなおこの反則行為の被害者に何らかの利益もあたえられない状態となったときに発生する。また我々にとつても目立つ状態は、レフェリーの吹笛が早すぎる——我々は常日頃笛を口にくわえっぱなしで行動せぬように言っているにもかかわらず——それによって(笛を手に持つことで)アドバンテージ適用に合致することになるにもかかわらずである。しかもアドバンテージが認められてもチームがボール保持であるのに、判定は単なるフリースローのみである。このような場合、笛が吹かれると大いなる防側側の戦術動作はすでにゆるんでしまし、そこにも明らかなアドバンテージ状態が生じることにも特別の注意をはらうべきである。およその場合14-9との関連でシユートをするときのアドバンテージ解釈の心情(配慮・情状の軽重)はいらだちを感じさせることになる。明らかな得点チャンスのときに何らかの反則が生じ、そしてレフェリーがアドバンテージを認めて試合を続行させるには次の主要な注意点を配らなければならぬ。それはシユートが完全にボールと自分自身のボディコ

ントルールをたもっているかどうかである。もしコントロールを失っているならば、当然のこと7mスローが与えられる。すなわち、得点チャンスを改めて与えられるということである。もしコントロールがたもたれている状態であっても得点が成功しなかったり、相手GKの美技で阻止させられたり、となつた時は攻ブレイヤーにその上なお7mスローを与えるようなことがあつてはならない。これは重複多重アドバンテージ解釈を認めないということである。このことについての間違つた判定は、防側チームにとつてこの上ないいらだちをおおえる作用、影響となる。次に寛大すぎるとりあつかひのステップ(オーバーステップに甘い)とゴールエリア内立入りについての反則場面でのアドバンテージ解釈についてとりあげてみると、いずれも大まかさがみられ、これも被害チーム側にいらだち立腹感の原因を作ってしまうことになる。基本的に明らかな反則場面でも反則なしのチームがボール保持状態であれば、その都度単なるフリースロー結果となるような吹笛はしてはならない。というのも、そのような吹笛は試合の流れをこわすものであり、アドバンテージ適用の敏速な対応を阻害することになるからである。



創業70年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

各地の記録から...

東北

全国高校選抜青森県二次予選

(1月7、8日/弘前市民体育館)

〈男子〉

▼リーグ戦

青森商	24	野辺地
青森商	32	山田
青森商	29	青森
野辺地	36	山田
野辺地	16	青森
青森	25	山田
野辺地	16	山田
青森	18	山田

④山田

〔順位〕①青森商②野辺地③青森

〈女子〉

青森西	17	青森中央
青森西	27	三本木
青森西	11	野辺地
野辺地	19	青森中央
野辺地	21	三本木
青森中央	32	三本木

〔順位〕①青森西②野辺地③青森中央④三本木

全国高校選抜宮城県予選
(1月9、10日/県スポーツセンター)

〈男子〉
▼リーグ戦

仙台育英	24	仙台一
古川商	25	仙台二
仙台育英	34	仙台二
古川商	20	仙台一
仙台二	17	仙台一
古川二	19	仙台一
古川商	17	仙台一
〔順位〕①古川商②仙台育英③仙台二④仙台一		
聖和	31	飯野川
宮城三女	14	朴沢女
聖和	29	朴沢女
宮城三女	20	飯野川
宮城三女	20	飯野川
朴沢女	16	飯野川
朴沢女	7	宮城三女
〔順位〕①聖和②宮城三女③朴沢女④飯野川		

関東

埼玉県高校新人大会

(10月10日、11月29日/浦和学院高、伊奈総合学園高ほか)

〈男子〉

浦和市立	23	三郷北
志木	19	川口
春日部	26	小松原
所沢北	16	春日部東
所沢北	11	

城北埼玉	22	上尾南
上尾東	31	越谷南
川口東	14	朝霞
庄和	20	北本
3 P T C		
▽2回戦		
川口工	25	浦和市立
埼玉栄	28	浦和市立
城西川越	32	草加
浦和西	20	浦和工
浦和西	23	志木
農大三	27	春日部
浦和南	26	熊谷
浦和実	23	草加東
浦和学院	44	所沢北
県坂戸	29	鴻巣
春日部工	28	戸田
川口北	22	上尾東
川口青陵	26	川口東
伊奈学園	35	岩槻
筑波大坂戸	33	科学技術
大宮南	26	庄和
▽3回戦		
埼玉栄	18	川口工
西武台	25	城西川越
浦和西	28	農大三
浦和実	19	浦和南
浦和学院	21	浦和南
川口北	16	春日部工
伊奈学園	17	川口青陵
大宮南	15	筑波大坂戸
▽準決勝リーグI組		
浦和実	19	西武台
浦和実	25	埼玉栄
浦和実	30	埼玉栄
西武台	14	埼玉栄

西武台	14	浦和西
埼玉栄	17	浦和西
〔順位〕①浦和実②西武台③埼玉栄④浦和西		
▽準決勝リーグII組		
浦和学院	18	川口北
浦和学院	17	大宮南
浦和学院	24	伊奈学園
川口北	19	大宮南
川口北	19	伊奈学園
大宮南	14	伊奈学園
〔順位〕①浦和学院②川口北③大宮南④伊奈学園		
▽7・8位決定戦		
浦和西	23	伊奈学園
▽5・6位決定戦		
埼玉栄	19	大宮南
▽3・4位決定戦		
川口北	17	西武台
浦和実	7	西武台
〔7 9 3 4〕		
7浦和学院		
※浦和実は2年連続3度目の優勝		
▽県大会1回戦		
春日部東	30	大宮北
草加東	34	上尾南
浦和西	22	狭山
春日部女	15	川口東
浦和商	13	北本
大宮南	9	大宮武蔵野
戸田	17	幸手商
浦和南	20	庄和
▽2回戦		
川口青陵	35	春日部東
春日部共栄	22	秋草学園

浦和学院	8	和光
川口女	20	草加東
上尾東	30	浦和西
八潮	17	浦和市立
筑波大坂戸	30	深谷一
羽生一	20	春日部女
三郷北	32	浦和商
伊奈学園	25	本庄女
朝霞	23	草加
熊谷女	8	大宮南
川口北	22	戸田
行田女	19	志木
八潮南	16	小松原女
2 P T C 1		
浦和実	22	浦和南
▽3回戦		
川口青陵	30	春日部共栄
浦和学院	21	川口女
上尾東	20	八潮
羽生一	29	筑波大坂戸
羽生一	16	伊奈学園
三郷北	21	熊谷女
朝霞	21	行田女
川口北	22	八潮南
浦和実	46	八潮南
▽準決勝リーグI組		
川口青陵	21	上尾東
川口青陵	28	浦和学院
川口青陵	30	浦和学院
上尾東	15	羽生一
上尾東	18	浦和学院
浦和学院	20	羽生一
〔順位〕①川口青陵②上尾東③浦和学院④羽生一		
▽準決勝リーグII組		
浦和実	20	三郷北
浦和実	29	川口北

富	清	▼1回戦	(男子)	静岡県高校新人大会	暁	▼3位決定戦	四日市南	▼準決勝	四日市商	名張西	四日市南	▼2回戦	四日市商	津東	名張西	四日市西	四日市南	尾鷲	四日市	▼1回戦	(女子)	桑名15	▼3位決定戦	四日市	桑名
士	水	17	24、31日		18	13	22	28	15	14	32	21	25	24	46	14	21	10	25	45	10	5	17	24	
4	4	4			9	8	4	2	4	13	2	12	4	6	3	12	8	7	5	1	6	7	16	14	
		修善寺工			9	名張西	名張西	四日市南	津東	四日市西	尾鷲	四日市	川越	津西	松阪女	亀山	四日市四郷	桑名	桑名西	津		13	津東	四日市	
		森			四日市商																	四日市工			

加	清	▼2回戦	(女子)	静岡農23	▼決勝	濱松南	静岡農	▼準決勝	浜松南	星陵	沼津東	静岡農	▼3回戦	浜松南	静岡東	星陵	清水市商	沼津東	浜松城北工	富士	静岡農	▼2回戦	静岡東	伊豆中央	星陵	静岡南	二保	オイスカ	御殿場南	浜松湖東
藤	水	32	11	11	14	23	14	24	14	24	19	29	21	12	16	18	23	16	21	19	21	14	20	22	28	23	14	20	10	
学	西	9	7	10	9	14	13	13	13	13	14	14	8	11	11	16	4	10	7	11	5	13	16	1	5	7	7	6	6	
園	山	6	5	6	星	沼津東	静岡東	清水市商	浜松城北工	富士	静岡農	伊豆中央	静岡南	伊豆中央	静岡南	二保	オイスカ	御殿場南	浜松湖東	清水東	天竜林	小宮山	静岡西	気賀	吉原商	御殿場	土肥	静岡肥工	沼津工	

境	▼決勝	米子東	▼準決勝	倉吉東	米子西	▼1回戦	(男子)	全国高校選抜鳥取県予選	清水西	▼決勝	静岡農	清水西	▼準決勝	静岡農	清水市商	氣賀	清水西	▼3回戦	清水西	富士見	静岡農	御殿場	清水市商	氣賀	富士宮東	藤枝西
15	7	15	16	20	10	10			9	8	10	18	12	30	12	34	12	34	7	19	14	13	12	7	7	4
8	14	9	6	12	9	9			4	5	8	9	9	3	8	4	8	4	2	7	6	12	0	12	12	0
2									9	静岡農	清水市商	氣賀	富士見	御殿場	富士宮東	加藤学園			2	浜松南	吉原	二保	静岡城北	富士東	藤枝西	
4		倉吉西	境港工	米子北	倉吉東				静岡農	清水市商	氣賀	清水市商	富士見	御殿場	富士宮東	加藤学園			P	南	原	保	城北	東	西	
6		工	工	北	東				農	商	賀	商	見	場	東	園			T	南	原	保	城北	東	西	
米		倉吉	境	米子	倉吉				農	商	賀	商	見	場	東	園			C	南	原	保	城北	東	西	
子		工	工	北	東				農	商	賀	商	見	場	東	園			1	南	原	保	城北	東	西	
東		工	工	北	東				農	商	賀	商	見	場	東	園				南	原	保	城北	東	西	

▼決勝	▼3位決定戦	倉敷工	天城	▼準決勝	倉敷工	東岡山工	天城	総社	▼2回戦	岡山工	倉敷工	東岡山工	児島	天津城	水島工	総社	▼1回戦	(男子)	岡山県高校室内選手権	境	▼決勝	米子南商	▼準決勝	米子東	米子南商	米子北	▼1回戦	(女子)
15	6	15	11	16	34	25	28	9	18	17	18	18	14	30	18	17	17	17	37	19	18	17	23	33	29	34	34	
11	4	14	6	6	11	12	4	7	10	15	9	14	12	6	14	5	5	5	18	18	14	5	1	4	3	7	7	
		東岡山工	総社	岡山工	児島工	津島工	水島工	倉敷工	倉敷工	光南	吉備	一宮	操山	邑久	米子東	米子北	倉吉東	倉吉産	倉吉西	米子西	15	米子東	米子北	倉吉東	倉吉西	米子西	米子西	




株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社

倉敷工12 (7 5 5) 10天 城

※倉敷工は9年ぶり3回目の優勝

▼1回戦

備前東 12 | 7 真 備

古池 11 | 2 一 宮

▼2回戦

玉野光南 34 | 5 備前東

児島 18 | 7 倉敷南

総社 11 | 8 倉敷商

西大寺 22 | 8 古城池

▼準決勝

玉野光南 18 | 8 児島

西大寺 17 | 7 総社

▼3位決定戦

児島 16 | 5 総社

▼決勝

玉野光南14 (9 5 | 6 5) 11西大寺

※玉野光南は2年連続2回目の優勝

四国

香川県中学新人大会

(1月6、7日/県体育館)

▼1回戦

木太 25 | 6 桜 町

香川東 18 | 18 紫 雲

古商松 31 | 7 玉 藻

▼2回戦

香川一 21 | 7 木 太

香川東 17 | 9 勝 賀

綾南 20 | 2 光 洋

古高松 19 | 11 山 田

▼準決勝

香川一 28 | 10 香川東

綾南 23 | 21 古高松

▼決勝

香川一 21 (12 9 | 3 5) 8綾南

※香川一は2年連続3回目の優勝

▼1回戦

木太 10 | 5 光 洋

香川一 棄権 綾南

▼2回戦

香川東 6 | 5 木 太

山田 23 | 6 桜 町

塩江 12 | 9 紫 雲

▼準決勝

香川一 11 | 6 古高松

山田 24 | 10 香川東

▼決勝

山田 16 (6 10 | 6 8) 14香川一

※山田は5回目の優勝

九州

第16回九州高校
宮崎県二次予選会

(12月26、27日/都城体育文化センター)

▼1回戦

山田 29 | 10 小 崎

山田 18 | 13 小 崎

山田 27 | 11 小 崎

山田 18 | 14 小 崎

宮崎西 30 | 10 延岡

宮崎第一 13 | 12 都城工

宮崎南 18 | 12 泉ヶ丘

▼準決勝

宮崎西 29 | 14 宮崎北

宮崎南 18 | 24 宮崎第一

▼決勝

宮崎南 25 (12 13 | 10 10) 20宮崎西

※宮崎南は5年ぶり2回目の優勝

▼1回戦

本庄 24 | 5 宮崎女

宮崎西 12 | 11 小 崎

宮崎商 22 | 18 延岡東

▼準決勝

小崎商 23 | 5 延岡商

本庄 15 | 9 宮崎西

▼決勝

本庄 23 (10 13 | 11 10) 21小崎商

※本庄は2年連続4回目の優勝

第3回宮崎県中学生選抜大会

(12月26、27日/都城体育文化センター)

▼リーグ戦

山田 28 | 13 田 野

山田 18 | 14 田 野

山田 27 | 11 宮崎西

山田 18 | 13 宮崎西

山田 29 | 10 小 崎

山田 18 | 13 小 崎

北川 18 | 1 小 崎

北川 34 | 6 高 鍋

山田 10 | 6 高 鍋

山田 16 | 8 山 田

北川 26 | 5 山 田

※北川は2年連続2回目の優勝

第23回宮崎県高校連新人大会

(日程、場所不明)

▼予選リーグ

○A組

都城工 28 | 12 宮崎中央

都城工 18 | 14 都城西

都城西 28 | 8 宮崎中央

○B組

泉ヶ丘 29 | 4 日向工

宮崎南 39 | 7 日向工

宮崎南 17 | 13 泉ヶ丘

○C組

宮崎第一 27 | 24 宮崎北

宮崎第一 25 | 13 宮崎北

宮崎第一 31 | 13 宮崎北

○D組

西都商 44 | 4 妻 妻

西都商 26 | 8 妻 妻

宮崎西 41 | 19 妻 妻

○E組

宮崎工 26 | 5 都 商

宮崎工 12 | 10 都 商

○F組

小林工 33 | 6 小 崎

小林工 19 | 9 小 崎

make-up tomorrow

メイク・アップ、トウモロウ。

財産の運用、ローンのご利用、不動産や年金、相続・贈与の設計など
お客さまとともに明日を創造するBANK、〈ダイヤ〉をご活用ください。



あなたと明日を

和 大和銀行

宮崎商	31	8	宮崎妻	44	4	宮崎南	9	8	6	4	10	宮崎南	15	24	14	13	宮崎第一	16	13	12	12	宮崎西	20	23	8	12	宮崎第一	23	20	9	9	宮崎西	24	18	19	18	宮崎第一	26	11	24	13	宮崎北	20	18	28	14	都城工	19	19	小林工
本庄	30	12	妻	30	12	宮崎南	9	8	6	4	10	宮崎南	15	24	14	13	宮崎第一	16	13	12	12	宮崎西	20	23	8	12	宮崎第一	23	20	9	9	宮崎西	24	18	19	18	宮崎第一	26	11	24	13	宮崎北	20	18	28	14	都城工	19	19	小林工
本庄	44	4	妻	44	4	宮崎南	9	8	6	4	10	宮崎南	15	24	14	13	宮崎第一	16	13	12	12	宮崎西	20	23	8	12	宮崎第一	23	20	9	9	宮崎西	24	18	19	18	宮崎第一	26	11	24	13	宮崎北	20	18	28	14	都城工	19	19	小林工
宮崎商	31	8	妻	44	4	宮崎南	9	8	6	4	10	宮崎南	15	24	14	13	宮崎第一	16	13	12	12	宮崎西	20	23	8	12	宮崎第一	23	20	9	9	宮崎西	24	18	19	18	宮崎第一	26	11	24	13	宮崎北	20	18	28	14	都城工	19	19	小林工

※本庄は2年連続4回目の優勝。

本庄	6	7	小林商	13	23	小林商	16	22	24	19	21	17	7	10	16	23	16	23	7	9	3	1	16	7	22	21	36	41	27	18	16	30	25	48	13	9	8
本庄	6	7	小林商	13	23	小林商	16	22	24	19	21	17	7	10	16	23	16	23	7	9	3	1	16	7	22	21	36	41	27	18	16	30	25	48	13	9	8
本庄	6	7	小林商	13	23	小林商	16	22	24	19	21	17	7	10	16	23	16	23	7	9	3	1	16	7	22	21	36	41	27	18	16	30	25	48	13	9	8
本庄	6	7	小林商	13	23	小林商	16	22	24	19	21	17	7	10	16	23	16	23	7	9	3	1	16	7	22	21	36	41	27	18	16	30	25	48	13	9	8

瞬間、信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する
モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の“32面体ノンスリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I. H. F. .) 公認を獲得。ハンドボールの圧倒的な人気と信頼を集めています。

株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都墨田区横川5-5-7 電話 (03) 525-7581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・ジャカルタ

●日本ハンドボール協会公認球 (J.H.A.) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)

1 月度常務理事会議事録

〔日 時〕 昭和63年1月9日(土) 午後2時30分～

〔場 所〕 岸記念体育会館 401号会議室

〔出席者〕 安藤専務理事、川上、大野、伊藤、北川、阿部、西村、塩川、各常務理事、事務局関口、斉藤

〔議 題〕

- 1 国際関係について、
 - * U S A カップ(女子)はナショナルスタッフ決定との関連があり残念ながら今回は参加出来ない。
 - * 男子ナショナル欧州遠征(3月25日～4月10日)は日程変更はあると思われるがアイスランド他の了解を得られた。
 - * スイストヨク来日については日本国内(東京、名古屋、九州地区)の日程調整の段階に入った。
 - * 女性トレーナーコーチ研修会(3/28～4/3、オーストリア)は北川氏が希望者を募る。
 - * テラモ(イタリア)来日希望については永年日本チームがお世話になっているので受け入れなければならない。昭和64年3月下旬～4月の予定なので昭和64年度の事業となる。尚、総員30名の予定。
- 2 男子ナショナル海外遠征役員について
欧州遠征及びユーゴカップがあるが、役員については次回決定とし、個人負担金はどちらかに体協の補助金が付くと思われるので、二つの遠征をリンクして考える。
- 3 スポーツフェア、親善試合について
アイスランドより来日を受諾する旨正式回答があった。5月4日、5日の両日、名古屋及び大阪で試合を計画中。
- 5 全国小学生大会について
現在参加確定は男女とも6県程度である。特に近畿圏については参加を強く願います。
- 6 国体関連事項について
前に評議員、各県協会に送付済み資料につき説明された。
- 7 63年度予算案修正について
原案としては大きな修正点は無いと思われるが若干の修正は、専務理事、財務、総務担当者に一任して欲しいとの発言があり、全員これを了承した。
- 8 その他
 - * 50年誌の最終編集委員会が開かれた。次回は60年誌を発行する意向である。また、毎年誌(year book)作成が議題にされた、との報告があった。

1 月度(第2回)常務理事会議事録

〔日 時〕 昭和63年1月30日(土) 午後2時30分～

〔場 所〕 岸記念体育館 402号会議室

〔出席者〕 荒川副会長、安藤専務理事、川上、大野、北川、阿部、大塚、塩川、各常務理事、事務局関口、斉藤

荒川副会長挨拶

新年にあたり日本協会のあるべき姿を考えると、事務局員の教育並びに業務指導と共に事務所は事務局員の仕事の場である事を役員各位が認識し、事に差し支え無きよう配慮されたい。

評議員を始め各氏より協会の資金状態について問い合わせがある。予算の執行については財務担当はもとより総務もあわせチェックし、健全財政確立のため各担当常務理事は一致協力して欲しい。

常務理事は各担当職責を十分果たされるよう努力され、公私を混同することの無いよう常に心がけてほしい。

〔昭和63年度予算及び事業計画について〕

最終的検討が為され原案とすることで了承された。

〔その他〕

- 1 スポーツフェアについて
アイスランド招待は実施の段階に入り近日中に川上氏と東京協会担当者との打合せを行いたい。
- 2 I H F ルールについて
改正は本年度は見送られる予定である。日本協会は当初予定どおり現在のルールを来年度も施行する。
- 3 小学生ルールについて
大塚審判担当より別紙にて説明がありました。
- 4 評議員会議事録について
久保評議員に署名をお願いしてあるが、内容につき事務局より説明が為された。
- 5 カラーボールについて
現在使用されているボールは適法であると認められる。
- 6 ヨーロッパ遠征(3/24～4/9)について
安藤専務理事に一任する。
- 7 女子ナショナル監督について
榎塚氏の了解をほぼ得られた。
- 8 クラブ関係について
運営上の問題(大会開催地など)があるので、それらについて分後、検討を重ねて行く事にする。

お詫び

本誌2月号(270号)において、表2(株式会社日立製作所)、表3(株式会社アシックス)の広告原稿を、当方の手違いで旧原稿を使用してしまいました。ご迷惑をおかけいたしました両社に対し、深くお詫び申し上げますと共に、読者のみなさまにお詫び、訂正させていただきます。

この笑顔、いつまでも。



5人以上のグループでこの保険に加入できます。

保険料(年額1人あたり)

- スポーツ少年団、子ども会など中学生以下の子どものグループ **350円**
- 文化活動、奉仕活動のグループおよび老人のグループ(ゲートボールなど) **600円**
- ママさんバレーなどの地域スポーツグループ、高校の運動部および大学・会社などのスポーツ同好会など **1,050円**

注:ほかにも学生連盟、実業団連盟に所属する団体の加入も扱っています。

補償の内容

傷 害 保 険	死亡・後遺障害	最高	1,200万円
	入院 (1日につき)		3,800円
賠償責任保険	通院 (1日につき)		1,200円
	支払限度額	対人 対物	5,000万円 100万円

対象となる事故

- グループ活動中の事故
- 往復途上の事故

保険期間

昭和63年4月1日より翌年3月31日まで(申込受付は3月から)

加入申し込み、資料の請求、お問合わせ

スポーツ安全協会各都道府県支部(主として教育委員会保健体育課および体育協会)、もよりの東京海上火災保険(株)の営業店にご照会ください。

(財)スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館 TEL (03)481-2431 (代表)

asics TIGER



オリンピック



1988 1992

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

百個のグリップ力。アウトドア専用。

マルチコンソールが、グラウンドを確実にグリップする。初のアウトドアハンドボールシューズ、スカイハンド® SL。

アウトソールには、片足に100個以上のポイントを独特の形状で配置。アウトドアのグラウンドコンディションに確実に応えるハンドボールシューズの登場です。側面には傾斜をつけ、倒れ込みシュートを打ちやすく。かかと部を拡げて着地衝撃を吸収しやすい形状に。大空での空中戦を十二分に意識した、初めてのハンドボールシューズです。

品番 THH 501 品名 スカイハンド® SL

メーカー希望小売価格 ¥9,200

カラー/ホワイト×レッド

ホワイト×ネイビーブルー

サイズ/22.5 - 28.0cm

株式会社 アシックス

●お問い合わせは株式会社アシックス消費者相談課までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1 ☎(078) 303-2233(専用) (078) 303-3333(大代)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ☎(03) 624-1814(専用) (03) 624-2221(大代) ■本文中®は®アシックスの登録商標です。

